

1000人のハンスト・ハンストサポーター募ります！

最賃引き上げのアピールで！

第34回女性部委員会で提起

6月17日、第34回女性部委員会を開催、春闘総括をおこない、当面のたたかいとして、最低賃金引き上げに力をそそごうと提起しました。恒例のミニ学習は、5月に民法協国際交流委員会でフィンランド、スウェーデンを訪問した、弁護士の有村とく子さんの報告です。(土田部長も一緒に参加した内容はNO14でお知らせ済み)。

土田部長あいさつ

北欧は労働時間が短い。週30時間で、企業も残業代を出すより、金曜には年休取得を推奨。公園で日光浴する姿を見かけた。夏休みは企業も学校も2カ月ある！

日本の労働状態を話題にすると、日本の労働者はその状態を許すのですか。選挙はないのですかと逆に質問されました。選挙でこそ、自分たちの暮らしをよくする意思表示をすることの大切さを再確認しました。

伊東事務局長より第1号議案 春闘総括

- ・継続は力なり。(ビクトリーマップの内部留保や、菜の花行動での労働局や商工労働部の変化など)
- ・派遣法の署名への力強い取り組みに対して、穴だらけ・継続審議の派遣法改正案を変える気はないと政府は発言。選挙後の国会を注視したい。最賃も課題。
- ・枚方非常勤裁判の結果を逆手にとって、一時金を時間給に組み込む自治体が増えてきている動きもある。
- ・5月のNPTでは700万の署名が力に。核保有国に何も言えない日本政府の情けなさ。
- ・橋下知事の動きは女性保護軽視、全国知事会での基地受け入れ発言あり。府政の転換をめざし、知らせ広めて運動していきたい。
- ・菜の花行動で行ったマスコミ訪問など継続が力に。行政交渉では教育委員会の税金の使い道に愕然。商工労働部では予算削減の中、高校への就職の説明など行っている。
- ・集まることはしんどいけれど、集まるのが展望への道。
- ・最賃1000円めざして、1000分ハンストにサポーターも含めて1000人が参加しよう。「ハンスト中」「ハンストサポーター」のシールを胸に貼って、職場でもアピールしよう。労働局前では最賃メニューを再現して、マスコミにアピールしよう。



↑ 発言する府高教の長尾さん

続いて、第2号議案 2011年度の選挙管理委員を選出。大教組の福田和恵さんと、全国一般の西村祐美子さんが承認されました。

第3号議案で、北河内地区協選出の常任委員栗山花代さんから松田淳子さんへの交代が提案され、拍手で承認されました。

【討論】

□ 自治労連

大阪市の非常勤保育士の大量首切りのたたかいで、大半は継続雇用となったが、今あちこちで有期雇用が問題である。

政府の有期労働研究会が3月にまとめた内容は「有期雇用を合法的に増やしていく」内容。

茨木の学童指導員のすべて首切りした後、採用試験を行ったが、定数足らずで、足らずをまた、アルバイトで雇っている。こんな働き方を改めるために運動を広めていきたい。

□ 大教組

① 大阪市の4月から、国旗が常時掲揚となった。卒業式・入学式は君が代強要。校旗より、市旗掲揚を管理職から決定事項として伝えられる。物言えぬ状況が生まれている。

② タイムカード導入。出退勤管理が始まり、5分遅刻は年休扱い。一方、時間前出勤や5時以降の残業は当たり前、昼休みなしの状況がある。長時間過密労働解消への運動への支援をお願いしたい。

□ 全国一般

しばた分会の仲間は、3月の会社倒産で全員解雇となった。今、自主再建を目指して運動している。支援をお願いしたい。

全国一般は中小企業の組合なので、春闘はゼロ回答が多かった。医療関係も診療報酬や介護報酬を上げる動きはあるが、実際の職場は、アップなしで、厳しい状況が続いている。介護職員処遇改善交付金や、非正規の社会保険加入条件を緩和して、少しであるが前進を勝ち取ってきている。

夏季交渉では、一ヶ月から、1.6ヶ月の回答で厳しい状況が続いている。

6月からの育児介護休業法の施行にあわせて、アンケートを行い、運動していきたい。

□ 年金者組合

高齢者の貧困は深刻である。特に女性の貧困。ある人は年金10万で、介護保険や社会保険を払うと手元には6万円、その中から、家賃を払うと1日食費は800円となる。節約のため、電気をつけず、テレビの明かりで採光をする。トイレも5回に1回流す状態だ。高齢者を貧困から守る早急に政策が必要である。原因は、後期高齢者保険などの国庫補助が半分から4分の1になっている影響が大である。09年の政府の回答で、対策を立てるそうだが、財源は消費税ですするという。最低保障年金の創設など、すぐに動かないと高齢化社会は今すぐ始まる。

□ 府高教

4月から授業料無償、エアコン代もなくなった。しかし、高校では、修学旅行や全員履修の柔道着など、まだまだお金はかかる。また、私立高校の授業料はまだ無償でない。

また、借金の奨学金ではなく、給付の奨学金を目指して、運動をしていきたい。現在、国際人権A規約13条(高等教育無償化)を批准していないマダガスカルと日本のみとなった。ルワンダは民族紛争後、2008年に13条を批准した。平和となり、ルワンダでは、女性の地位向上と教育重視の政策を始めている。(インターネット情報)

大阪では、進学校10校に対して、1億円の予算が配当された。することは、東大・京大進学率競争である。予算をすべての高校生の笑顔にこそ使うよう運動を進めたい。

□ 医労連

日勤は患者4人に対して一人、夜勤は患者10人に対して一人看護師が配置、夜勤は月8日以内との目安がつくられてきたが、増員の実現ができていない。その中で、現在3交代から、2交代勤務が広まっている。2交代とは引継ぎ時間もあり、実質20時間拘束となる。職場は、年休20日中、半年間で4日余と年休消化率の低さがめだっている。しかも、子どもや自分が病気の時に年休を取っている実態。低賃金で、長時間労働、休めない職場だが、ここに来て励まされる。職場で仲間を増やしていきたい。